



## 市内中学生が長野県木曾町（旧木曾福島町）・北海道福島町を訪問 生徒学習交流事業

1月10日から13日までの4日間、長野県木曾町と北海道福島町を市内中学校の生徒各2人が訪問しました。この事業は、同じ「福島」の名を持つ、両町と本市の生徒が相互に訪問し合い、気候・景観・歴史・生活文化等を見聞し、訪問先の人々との交流を深めることにより、広い視野と豊かな郷土愛を持つ青少年の育成を図ることを目的に実施しています。北海道福島町では、横綱記念館・青函トンネル記念館などの見学や函館でのスケート体験、長野県木曾町では、そば打ち体験やスキー体験を通して、両町生徒との交流を深めました。



▲北海道福島町にて



▲長野県木曾町にて

## 木育て積み木ツアー

鷹島保育園・上志佐保育所

木育て積み木ツアーが1月28日、鷹島保育園と上志佐保育所で開催されました。

同ツアーは、長崎県環境アドバイザー制度を活用した環境教育イベントの一環として、積み木遊びを通じ、園児が身近な自然や環境に関心を持ち、自然を大切に考え行動できる「人」に育つためのきっかけづくりをすることを目的としています。

環境アドバイザーの衣川圭太講師が、県産ヒノキで作った四角形、長方形、台形の3種類の積み木6,000個を持参して両保育施設を訪問。園児たちは歓声を上げながら、思い思いに積み木を積み上げていました。



## 子どもたちのために

オルゴールの会

音楽愛好家グループオルゴールの会（山口礼子代表世話人）が12月9日、市立図書館に対し児童図書9冊を寄贈しました。

同会は、さまざまな音楽との素敵な出会いを求めコンサートを開催し、収益金を社会に還元することで、心に財産を積み上げる活動をしています。今回は、12月1日に行われたコンサート収益の中から、将来の松浦を担う子どもたちのために図書が寄贈されました。

寄贈された図書は、子どもたちや親子連れに人気があり今も利用されています。



## ドローンを活用した授業

福島養源小学校

今春スタートする小学校でのプログラミング教育に先駆けて、小型無人機ドローンの体験学習が1月17日、福島養源小学校で行われました。

当日は、同校卒業生で九州産業大学4年の吉田大地さんら3人が講師として招かれました。吉田さんが屋外で実際にドローンを飛ばし、動きや機能を説明しました。児童たちもコントローラーを握り、操縦方法を教わりながら操作しました。香川弘樹さん(5年)は「将来はドローンレースに出てみたい」と話していました。

今回の授業を支援してくれた吉田さんたちは、初心者用の小型ドローン1機を同校に贈りました。



## 安心・安全な商店街づくり

松浦警察署と志佐商工振興会

志佐商工振興会（山本浩史会長）は、安心・安全な商店街づくりを目的として、平成29年度から3年間で計8台の防犯カメラを設置しました。

防犯カメラの設置により、事件・事故が発生した際、記録映像を松浦警察署へ提出することで、迅速な事件・事故の解決に役立てることが出来ます。

同振興会は2月3日、松浦警察署を訪れ、地域住民が安心して買い物ができる環境を整備したことを報告しました。また、犯罪が起きにくい志佐町商店街の実現を図るため、更なる連携強化をお願いしました。



## いつまでもお元気で

土屋 クニさん 100歳のお誕生日

土屋クニさん（福島・播磨釜）が2月11日、100歳の誕生日を迎えました。

土屋さんは、福島町喜内瀬免で5人兄弟の長女（1番目）として出生。福島町播磨釜に嫁ぎ2人の男の子に恵まれました。明るく活動的な土屋さんは、町内の企業や真珠養殖場などに勤め、退職後は畑仕事やグラウンド・ゴルフ、貝掘りを楽しまれていました。

現在は、宅老所きずなに入所され穏やかに過ごされています。この日は、家族や職員に囲まれてお祝いの花束や言葉を受け取りました。



## 高低差のあるコースを疾走

鷹島町リレーマラソン大会

第12回鷹島町リレーマラソン大会が2月1日、鷹島モンゴル村で開催されました。

大会には市内外から小学生の部に11チーム、中学生・一般の部に16チームの224人が参加しました。選手たちは敷地内の1周1,000mのコースをタスキリレーで10周し、声援を受けながら健脚を競いました。

上位の結果は次のとおりです。

【小学生の部】	【中学生・一般の部】
①調川ランナースA 30分25秒	①切木かけっこ 27分26秒
②鷹島陸上クラブB 31分15秒	②佐賀玄海ボーイズA 28分13秒
③調川ランナースB 33分35秒	③切木ぼたん 28分35秒



## 鬼は外！福は内！

今福神社

節分祭の豆まきが2月3日、今福神社で行われました。神社での祭典は、数年前から今福中学校3年生の合格祈願を兼ねるようになりました。

今年の「福っ娘」は今福町の小野陽南星さん（敬徳高校3年）、本間千紘さん（松浦高校3年）、松原羽純さん（今福中2年）、池田瑠依さん（今福中2年）が務めました。4人は金色の烏帽子と桃色の羽織袴に身を包み、「鬼は外！福は内！」と元気な声で豆をまきました。この日集まった人たちは、たくさんの福を掴もうと、飛んでくる福豆に向かって大きく手を伸ばしていました。

